

つくらないサービスを 提供する

インタビュー

アルファテックス株式会社



<http://www.alfa-teccs.co.jp/>

本社 〒108-0014 東京都港区芝5-3-2アイセ芝ビル

- ・事業内容：BPOサービス、システムインテグレーション、アプリケーション開発
- ・創業：1987年5月1日
- ・資本金：4,040万円
- ・拠点：大阪支店、広島オフィス



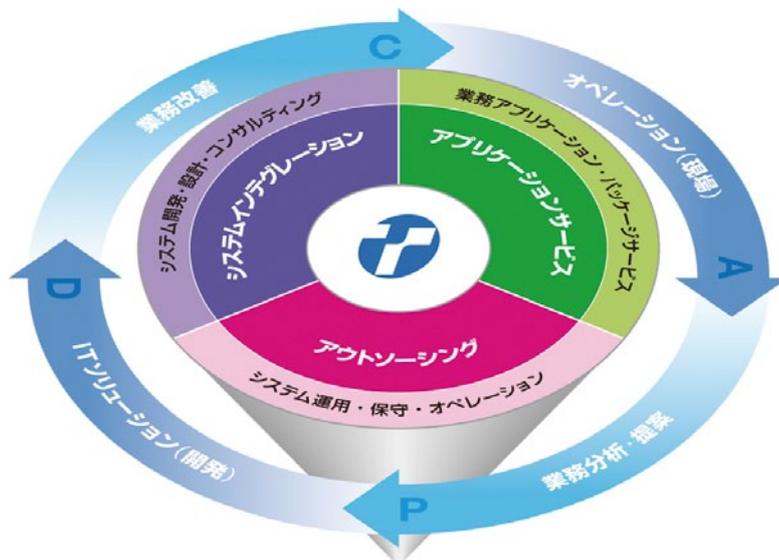
現場の課題解決を目標に

アルファテックスは、ICTでお客様課題を解決するシステムサービス事業社です。東京に本社を構え大阪・広島に拠点をもち、今年で創業31年目を迎えます。

創業当時の1987年頃は、ハードウェアを提供するベンダーが多く存在していました。そんな中、創業者は「お客様が欲しいのはハードウェアではなく、そこから得られる効果だ」と考え、現場の問題を解決することこそが大事だと起業を決意しました。そうした経緯から弊社では「つくるのではなく、つくらないサービス」を理念に掲げています。

システムの導入が行われる多くの場合で、システムを構築することだけに目を向けてしまい、構築したシステムがお客様に合わずトラブルを招いてしまうことがあります。目的が「つくること」になってしまっているのです。お客様の課題によっては「つくらない」で「活用・利用・知恵」を提供することが、効率のよいシステムとなり、問題解決になることがあります。このようにお客様目線で必要なことを必要な分だけシステム化していく、あくまでも課題解決をすることが弊社の仕事と考えています。

創業当時はシステムの構築とアプリケーション開発を行っていましたが、お客様にあったシステムの構築・開発を行っていく中で事業も運用やシステムの保守も提供してほしいという形に変化し、現在ではコンサルティングを含めたシステムのインテグレーション、運用・保守をもまかなうアウトソーシング、現場力を高めるアプリケーションサービスを三本柱にしています。その中には経理業務に特化したサービスもあり、文書管理業務サービスとあ



お客様の業務を支えるアルファテックスの強み

わせ、領収書や請求書などの扱いを簡便にするものもあります。「Alfa-Palette (アルファ・パレット)」はそれを可能にする弊社開発のアプリケーションで、経理業務を改善するワークフローシステムです。

電帳法を意識した製品開発

Alfa-Paletteは、弊社が10年以上提供している製品「Palette」の一部を切り出し、スキャナ保存機能を加えたものです。大元のPaletteは人事システムや会計システムからの情報を一元的に収集することができる基幹システムですが、Alfa-Paletteはその機能の一部を利用し、さまざまなシステムとの情報の受け渡しを行うクラウドタイプにしました。社内の電子的な承認行為を可能にし、効率よく稟議を回すことができます。

Alfa-Paletteは経理系の帳票に特化し、領収書や請求書などお金にまつわる帳票を扱うことを得意としています。紙の領収書や請求書などの帳票を受領した時点ですぐにスキャナや撮影を行い、webから申請を行えば、その電子化された帳票がすぐに経理処理されるというものです。本製品の最大のメリットは、紙の原本を電子化することで、支店など遠隔地で発生した領収書や請求書が時間を経ず、本社で経理処理される点です。また製品導入によって、申請者や経理担当者の従来の運用がさほど大きく変わることはないことです。

先述した理念に基づく、やはりユーザーには分かりやすく使い勝手がよいこと、そのためには現状の運用をできるだけ変更せず、業務を改善できる方法を意識しました。申請者は、現

状通り領収書や請求書を受領し、精算の申請を行い、紙の帳票を原本保管します。その際に新たな作業として増えることは、帳票の撮影やスキャンを行う行為だけです。次に経理担当者にとっては、紙で行っていた帳票内容の確認をPCの画面上の確認に代えるだけです。これにより、紙が送られてくる前に経理業務を終了することができると共に、各支店などで紙原本を管理することができるため、郵送費用も不要となります。Alfa-Paletteは昨年の要件緩和において使用可能となったスマートフォンでの撮影にも対応させました。弊社がPaletteという大きな製品を一部切り出して、Alfa-Paletteを押し出しているのには、このようなスキャナ保存制度への対応を可能にしたいという思いがあったからです。

まずは自社実践

電帳法の規制緩和があった2015年、スキャナ保存要件が大きく変わることがわかり、まずはユーザーとして理解すべく、勉強をしました。そしてAlfa-Paletteをお客様に提供する前に自社でうまく活用できるか身をもって体験することが重要だと考えました。もちろん2016年改正のスマホ対応についても、どこよりも先に自社活用で踏み切りました。この自社実践は先進的な事例としてJIIMAの2017年ベストプラクティス賞をいただくことができました。

弊社は120人程度と大きな会社ではないため、請求書や領収書もあまり多くは発生しませんが、社員が受け取った後の処理が素早く行われるため、経理作業に負担をかけず効率的に業務を回すことができるようになりました。またそれに加え、紙として原本を残す必要がないため、保存や管理が容易になっています。その効果は紙での作業時の約10分の一に、月次決算は翌月7～8日までかかっていたものが、2～3日に締められるようになりました。

弊社が常に意識していることは、自分たちが納得していないことはお客様に提供できないと考えていることです。自社でスキャナ保存実践をし、得た効果には大いに納得するものがありました。現在Alfa-Paletteを使用した電子帳簿保存法への対応はまだお客様に展開することは出来ておりませんが、自社実践で培ったノウハウを基にその効果もさることながら、難しい面や苦労した点も踏まえ、お客様にコンサルティングを行い、サービス提供をしていきたいと考えております。

スキャンデータを活用して、経理処理を行います



① 画面から画像を呼び出し、承認

➡

② 仕訳・振込データの作成

Alfa-Paletteの操作画面。支店でスキャンされた税務関係書類は瞬時に本店に送られ経費処理される。

JIIMAから得た知識を基に

ベストプラクティス受賞記事も含めて、月刊IMには2回ほど弊社実践の事例を掲載させていただきました。この実践で得た知識はその多くがJIIMA活動で得られたものです。弊社は2年ほど前に入会しましたが、その入会目的としては、今回電子帳簿保存法への対応を行ったAlfa-Paletteが本当にスキャナ保存の要件を満たしているのか情報を収集することでした。法的要件などを最も検討していると思われる法務委員会に参加させていただき、有意義な活動をするとともに多くの知識を得ることが出来ました。その知識を生かされたことで、電子帳簿保存法対応が実現できたのです。委員会活動を通し得た知識は、職場の同僚と共有することで、他の業務にも生かされています。昨年はJIIMA発行の「e-文書法 電子化早わかり」の編集にも携わらせていただきました。

月刊IMでの記事やJIIMAセミナーでの講演などを通し、多くの方々に弊社の取り組みを知っていただくことで反響も大きく、JIIMA活動で得たことは弊社にとって大きなものとなっています。

お客様の業務全体を改善

弊社の今後の展望は、自社実践を基に弊社製品を活用した



さらなる業務改善にむけて提案しつづけます
ビジネスソリューション事業本部 取締役 石川 春氏(左)
参事 中田 秀明氏(右)

文書の電子化を推し進めることや電子取引に目を向けていくことです。その取り組みは一部の業務だけでなく、お客様の業務全体を改善・効率化していきたいという理念に基づいています。その意味では、AIの技術やロボットを使用したRPAの技術にも目を向けていきたいと感じています。ただ、人間が持つ判断や処理がそのような自動処理よりも優れた場合が多く存在する点を忘れず、弊社理念に基づき「つくるのではなく、つくらないサービス」でそのような最新技術と人間にしかない能力を融合させたサービスを展開できればと思っています。





お好きな写真と文字による 世界に一つの贈り物専門店

sense121 (センスイチニイチ) とは…

株式会社アピックスの提供するパーソナライズドワイン・吟醸酒のe-shoppingサイト名称です。企業・個人のパーソナライズド需要として、「お名前入りラベル」をあしらったお洒落なお酒のネットショッピングが可能になりました。酒造メーカー・酒販店から一歩違った視点で、ギフト・ノベルティ市場に挑戦します。

APIX
株式会社アピックス

■ 本社
〒541-0059 大阪市中央区博労町1-2-2
TEL.(06) 6271-7291(代) FAX.(06)6271-7296
URL <http://www.apix.co.jp> E-mail info@apix.co.jp

■ 東京支店
〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 新富町堂和ビル
TEL.(03)5879-7291(代) FAX.(03)5879-7296
Online shopping <http://www.sense121.com/>



IS 612404